

2月から学習を始めて、説明文、物語文、論説文と入試によく出題される文章を一通り学習してきました。今月は詩の学習です。これまで取り組んできた文章以上に表現の工夫についてしっかりと考え、詩の中で描かれている内容をとらえていくように取り組みましょう。

第19、20回では詩について取り組みます。作者がどのような風景や物を見たり触ったりする中で、どのように感じているかをイメージしていくことが大切です。

また「読む」「書く」ツールでは、文をつくるためのポイントや、様子を表す表現、決まった言い回し、もともと日本にあった言葉（和語）について学習していきます。

宿題用教材の「栄冠への道」は、必ず授業を受講した後で取り組んでください。

「学び直し①」の文章題と「読む」「書く」ツールの問題を中心に、授業で学んだことを確かめて取り組むようにしましょう。問題を解くだけでなく、マル付けとまちがい直しもしっかりとしましょう。

◆第19回 詩 情景の表し方①／文をつくる②／決まった言い回しの使い方

今回は、詩の中でどのような情景が描かれているのかに着目して詩を読んでいきましょう。詩の中に書かれている、場所や時間や作者の行動がわかる表現に注目してイメージすることが大切です。

「読む」「書く」ツールでは、文をつくること（「に」「を」「と」の使い方）と、決まった言い回しの使い方について学習します。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章 問題 ……**1**～**3**の問題について、詩を読んで取り組む問題

「読む」「書く」ツール……下段の問題

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の**2**・**3**（詩）……**2**・**3**の各問題

『読む』『書く』ツールで学んだことを使ってみよう……**1**～**4**

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第十九回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章 オプション「探求」

◆第20回 詩 情景の表し方②／文をつくる③／もともと日本にあった言葉

前回に引き続き「情景」に着目して詩の内容を読み取ることが目標です。「情景」とは単に作者が見た風景などを表すだけでなく、作者がどのように感じたのかという印象や思いをこめて表現したものを表す場合があります。今回は、作者の気持ちや思いにも注意して取り組んでみましょう。

「読む」「書く」ツールでは、文をつくること（「ので」「のに」などの表現に注意する）と、もともと日本にあった言葉（和語）について学習します。和語は様々な言葉がありますが、日常生活では使わ

なくなった言い方も多く、辞書を使って調べることも大切です。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章 問題 ……**1**~**3**の問題について、詩を読んで取り組む問題
「読む」「書く」ツール……下段の問題

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の**2**・**3**（詩）……**2**・**3**の各問題

『読む』『書く』ツールで学んだことを使ってみよう……**1**~**4**

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第二十回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章 オプション「シナジー」

7月も引き続き「規則性」を学習していきます。規則性は様々な知識を加えていくことができ、応用力をみるには最適な単元です。そのため、入試ではよく出題される単元です。4年生のうちに、規則を見つけるコツや、公式をしっかりとおさえておきましょう。第19回は「等差数列」、第20回は「方陣算」について学習します。

各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第19回 規則性 等差数列

この単元は、4, 5, 6年を通じて本科教室に何回も登場します。それほど重要な単元ということもできます。5年生では等差数列の和を求めるなど、学年が上がるごとにグレードアップしていきます。4年生で学習する内容は基本にあたる部分ですが、一番大切な根元をなす考え方です。

「等差数列の□番目の数=初項+公差×(□-1)」という公式を覚えることは必要ですが、これは以前に学習した植木算を利用して、等差数列の□番目の数を求めることができます。「なぜそうなるのか」をしっかりと理解するように心がけましょう。

ただ、数列のすべてが等差数列というわけではありません。数列のいろいろなきまりを見つけるには、まず「となりとの差に注目する」ことです。これを手がかりにしていきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認しておきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①~③、学んだことを使う 知識技術 $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$ 思考技法 $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・ $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$, $\boxed{4}$

学び直し③・・・ $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$, $\boxed{4}$

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 $\boxed{5}$, $\boxed{6}$

栄冠への道・・・学び直し③ $\boxed{5}$, $\boxed{6}$

ひとりで問題と向きあうための準備 $\boxed{7}$, $\boxed{8}$

◆第20回 規則性 方陣算

大きく分けると、方陣算は中実方陣と中空方陣の2つに分かれます。それぞれの場合で、「全体の数」と「まわりの数」を求められるようにしましょう。この単元も図をかきながら解き進めていくと分かりやすいです。①中実方陣では、「全体の数=1辺×1辺」、「まわりの数=(1辺-1)×4」となります。②中空方陣では、「全体の数=(1辺-列の数)×列の数×4」(中空方陣の全体の数は学び②でも取り組んだように、他にもいろいろな求め方が考えられます。)、 $\text{「外側の1まわりの数}=(1\text{辺}-1)\times 4\text{」}$ となります。

ただし、正方形をもとにして、正三角形や正六角形にならべていく問題も出題されます。公式を覚えればよいと考えるのではなく、「分け方」を理解しておきましょう。

方陣算は4年生のテキストにしか出てきませんが、規則性を考えるときにははずせない考え方です。しっかりと確認しておきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認しておきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①②、 学んだことを使う 知識技術③, ④ 思考技法①, ②, ③

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①, ②

学び直し③・・・①, ②, ③

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法④, ⑤

栄冠への道・・・学び直し③④

ひとりで問題と向きあうための準備⑤, ⑥, ⑦

いよいよ暑い夏の到来です。夏カゼなどひかないよう注意しましょう。7月の理科では「水の三態変化」について学習します。

◆第10回 水の三態変化

水蒸気や水や氷について、どのように変化するのかに目を向けて、表やグラフから関係を読み取り、水のすがたが変化する原因について考えてみよう。

① 「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・水を温めたとき（湯をわかすとき）の変化していく様子や、体積の変化を理解しよう。
- ・水を冷やしたとき（氷をつくる時）の変化していく様子や、体積の変化を理解しよう

② 「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」：オプション探究
- ・「栄冠への道」：学び直し①、学び直し③

③ 「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第10回 都道府県のように

「学びのとびら」を読んでおきましょう。その上でweb 教室を視聴しましょう。

①では、都道府県の面積や人口について学習します。テキストの「やってみよう！」にチャレンジして面積や人口に特徴のある都道府県をよく確認しておきましょう。人口密度ということばができます。人口密度を求める計算式を覚えましょう。

②では、過密と過疎について学習します。人口の集中している地域と人口の減少している地域を比べると、産業の発達の度合いに違いが生じることを理解しましょう。

③では、都道府県庁所在都市を覚えます。基本知識ですので、しっかりと覚えてください。

【これもおさえておこう！】

オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)